

長谷観音 御開帳記念イベント 祈りとアート

◆記念法話と仏画のライブペインティング

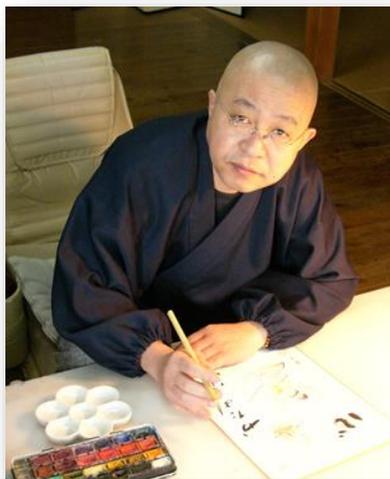
『観音さまは私たちの何を観ているのか』

画僧 牧宥恵さん

4月30日 (土)

午後1時より観音堂

後半はインド楽器シタール奏者の
伊藤公朗氏を迎えて仏画のライブ
ペインティングとインド音楽のコラボ



Prayer & Art

◆記念トークと音楽奉納

「インド・ダムラサラの30年～心の軌跡～」

タンカ絵師 馬場崎研二さん

vs住職

5月3日 (火)

午後2時より庫裏

後半はインド48弦琴スワルマンダルの奏者チャーリー宮本とインド竹笛バンスリの奏者後藤剛史 (art maru) による奉納演奏。



信州 長谷観音

検索

御開帳のお参り

午前 **10** 時～午後 **4** 時
期間中はご本尊さまの宝
前にどなたでもお参りいた
だけます。(拝観無料)

長谷寺宝物展

期 間：**4/16**～**5/8**

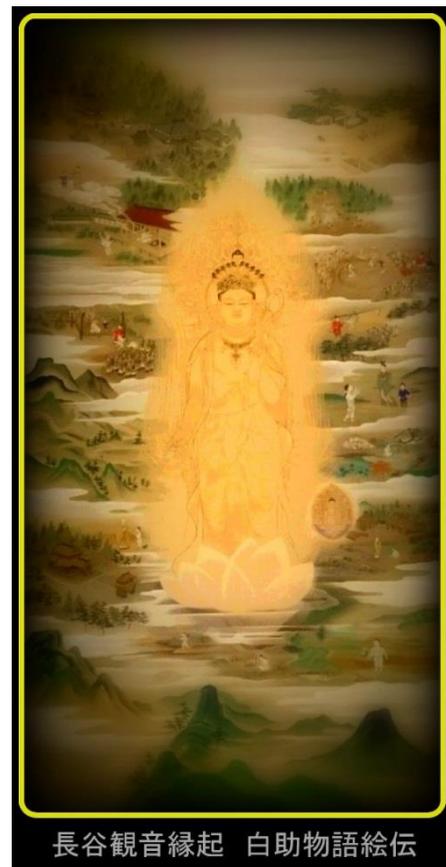
会 場：長谷寺本堂

拝 観：無料

展示の宝物

伝・快慶作地藏菩薩像・僧形神
源平合戦図・金銅製経筒・
弁財天像・種子曼荼羅・各種古図
大蛇の下顎・手裏剣ほか

白助物語絵伝



長谷観音縁起 白助物語絵伝

御開帳を祈念して新たに制作された長谷観音の開基の縁起「白助物語絵伝」の掛け軸を特別公開しお絵解きをいたします。



牧宥恵プロフィール

1950年、富山県新湊市生まれる。
 日本大学芸術学部を中退し、美学校細密画工房を経て図鑑等の細密画の世界に身を置くが、1975年、限界を感じてインドに渡る。このインド放浪の途上、それまで無縁であった「仏教」を強く意識し独学、仏画の独習に専念する。
 1977年、京都の真言宗智山派にて出家、得度、修行。
 1978年、和歌山の根来寺境内に画房を構え、以降、伝統仏画と三昧画の制作にあたる。同時に、個展、講習会、和歌山放送DJ、和歌山近鉄カルチャーセンターやNHK学園の「写仏」講師など、多彩な活動を通じ、「自ら考え、行動する」ためのニュー・ブディズムを発信している。

4月30日 午後1時より
法話とライブペインティング

Prayer & Art

伊藤公朗 プロフィール

1953年3月愛媛県の山奥にある禅寺で生まれる。
 1977年、シタールを持ってインドの聖地に向かう。
 音楽を修行の方法とするナーダयोगの聖者のもとで厳格な修行。
 インド各地の聖地を巡礼・修行しながら5年間のヨガ生活を送る。
 現在、朝霧高原近く富士山の樹海の森に移り、日々シタール弾き続けている。
 CD「Anjaliのうた」「こころをつなぐ歌」著書「ヒマラヤ音巡礼」など。



5月3日 午後2時 トークと奉納演奏

Prayer & Art

馬場崎研二プロフィール

昭和27(1952)年3月長崎県佐世保市生まれ。慶応義塾大学入学卒。
 昭和53(1978)年3月インド・タラムサラにて生涯のタンカの師、チャンパ・ツェテン氏との邂逅。以後11年間、師の死去まで師事。
 昭和59(1984~90)年4月T.C.C(チベット文化センター)仏画教室講師。
 平成元(1989)年師の死去にあたり遺族の意により中陰祭祀用タンカ制作。
 師亡き後、チベット人絵師の指導にあたる。著書「異境」(日貿出版社)



チャーリー宮本

1974年渡欧後パーカッション奏者として活動を始める。
 1980年代後半からインドを度々訪れる。穂高神社、いのちのまつり、ネパール、アフガン、チベットなどの支援コンサートを始め神社、お寺、平和と祈りのコンサート等に数多く携わっている。
 インド48弦琴スワルマンドール演奏家。
 東京都生まれ、長野県池田町在住



後藤剛史

1987年東京芸術大学美術学部卒業後渡印。音・空間を総合した美の表現活動をするなかでインド楽器であるバンスリ(竹笛)、ディジュリドゥを始め。1993年帰国後、メディテーションの呼吸としての円相シリーズを描きはじめる。インド、日本の古典楽器をベースに独自の創造性と表現力で奏でるバンスリの音色は暖かく、力強く、聴く者の心を惹きつけてやまない。
 長野市在住。

